

少しずつ 研究を進めています

まつナビ・プロジェクトおよい

フィールドワーク



▲第2学年のフィールドワーク

七月三十日(木)第二学年では、「まつナビ・プロジェクト(MNP)」の活動の一つであるフィールドワークを一日かけて行いました。これまで活動を最小限にとどめていましたが、対策を十分に行い、松浦市内を中心とした事業所へ行き、ヒアリングやアンケート調査などを行いました。学校へ戻ってから、データや写真の整理などを行い

ました。

二年一組長谷川遥菜さん(御厨出身)は、「私は、松浦のトラフグについて調べています。そこで、養殖場のある鷹島へフィールドワークに行きました。実際に自分たちも船に乗り、海上にあるトラフグを養殖しているポイントに事業所さんに連れて行ってもらいました。そこで一日を通して学んだことが二つあります。

一つ目はトラフグの養殖場の現状です。昔に比べるとトラフグの数も減っており、後継者となる人も少ないということです。また、トラフグが高価なものであるために「家庭ではあまりなじみがない」ということでした。二つ目は地元の方の優しさです。活動をしている私たちがのために、たくさん御協力いただきました。これからは今まで以上に地域に感謝しながら活動を進めたいと思います。」と話しています。

県立長崎東中学校来校

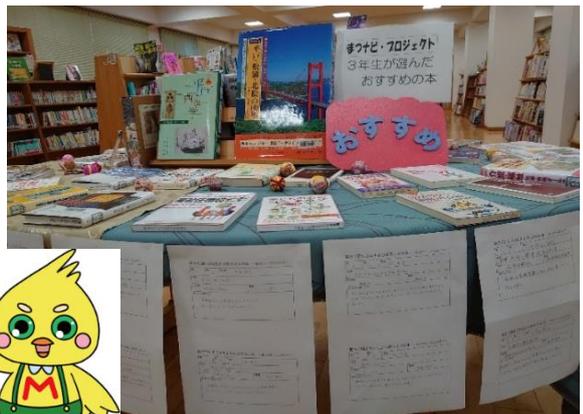
八月五日(水)に長崎東中学校の生徒2名が本校の「まつナビ・プロジェクト」の活動についての聞き取り調査のために来校しました。本校三年一組の百武歩さん(志佐出身)と三年三組の首藤大典さん(平戸出身)の二人が、対応しました。二人は中学生からの質問に熱心に答え、引率の吉田恵子教諭(長崎東中)からも、「ふるさとを語るその熱さに驚きました」と感想をいただきました。百武君は「少しでも中学校の活動の役に立てば嬉しい」と話してくれました。



▲長崎東中生による本校訪問

MNPコーナーを設置

九月十八日(金)に本校三年二組の生徒が、ポストまつナビの活動として本校図書館で、「後輩たちに伝えたい、「まつナビ・プロジェクト」に関連する書籍コーナー」を立ち上げるための選書を行いました。松浦市の歴史やふるさと教育に関する文献だけでなく、介護や福祉など今日の松浦市が抱える具体的な問題に関する文献も多く探してくれました。ぜひ一度、図書館に足を運んでください。



▲図書館の「MNP」コーナー設置

